

○質問紙回答について

- ・資料の活用（資料を読んで書いたり、話したりすること）についての回答率が低い。
- ・自分の意見に理由付けをすることが苦手である生徒が多い。

[意欲・関心について]

- ・国語の学習への必要感は高く、授業についての意欲がある。
- ・国語の学習がよく分かると回答した生徒が比較的多い。
- ・読書が好きだと回答した生徒が多い。

[話すこと・聞くこと]

- ・普段の授業で自分の考えを発表する機会が多いが、生徒同士で話し合う活動は少ないと回答した生徒が多い。
- ・意見を発表するときに、組立や根拠について考えることがやや苦手である。

数学

○数学 A、B について

- ・平均正答率が高いが、正答率が高い生徒が少ない。特に B 問題は正答数が低い生徒がかなり多い。

○各領域について

- ・数と式、図形は優位であるが、関数、資料の整理は低い。

○観点別について

- ・「数学的な見方や考え方」がかなり低く、計算はできるが、数学の面白みを感じていないと思われる。
- ・記述式の回答も B 問題で出題された証明の記述、説明を途中から最後まで記述し完成するなどについてはかなり低い。

○質問紙回答について

- ・「数学が好き」「数学の勉強は大切」「数学の内容はよくわかる」「数学ができるようになりたい」の項目に肯定的な回答の生徒が多く、意欲が伺える。しかし、「数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できるか考える」はかなり低く、なぜ数学を学習するかがわからずに机上だけのものとして取り組んでいる感があり、これは新たな単元の導入の時など、日常の事柄を関連づけ指導していくことが必要だと思われる。

《生徒質問紙に見る千代南中学校生徒の特徴》

生徒質問紙では、生徒の生活習慣や学習環境、学習に対する意識などを知ることができます。全国や県の平均と比較して、その特徴的なものについて紹介します。

1 生徒のすがた

＜肯定的な回答が多かったもの＞

生徒への質問に対して肯定的な回答（当てはまる、どちらかというと当てはまる）の多かった質問項目をあげます。これらは、全国・県の平均に比べて 20 ポイント以上の差が認められるもので、「当てはまる」という回答が全国・県の平均より高いものか、「当てはまる」・「どちらかという当てはまる」を合計したものが全国・県の平均より高いものです。

- 携帯電話やスマートフォンで通話やメールをしていますか。（していないが多い）
- 携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。
- 家で、苦手な教科の勉強をしていますか。
- 家で、テストで間違えた問題について勉強していますか。
- 今住んでいる地域の行事に参加していますか。
- 英語の学習は好きですか。
- 普段の授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていると思いますか。
- 数学の勉強は好きですか。
- 数学の授業の内容はよく分かりますか。

このように本校の 3 年生は携帯電話、スマートフォンの使い方について非常によく考えて生活していること、そして携帯電話、スマートフォンの所持率も低く、家庭の協力度をうかがうことができます。また、家庭学習で何を勉強するかを理解し学習していること、地域の行事によく参加をしていることが分かります。